

平成 30 年度 第 9 回 治験審査委員会 会議の記録の概要

日時：平成 31 年 1 月 17 日（木） 15:30～16:10

場所：独立行政法人国立病院機構仙台医療センター第二会議室

出席者： 鶴飼 克明（委員長）	上之原 広司	江面 正幸
鈴木 靖士	木村 憲治	後藤 達也
遠藤 和美	青山 満理子	菅原 幸子
多田 恭子	坂田 宏	伊藤 直之
大北 全俊		

（敬称略）

※議題により審議・採決に参加しない委員あり

【審議事項】

- No. 1 ギリアド・サイエンシズ株式会社の依頼によるクローン病患者を対象としたFilgotinibの第Ⅲ相試験
審議内容：安全性報告に関して、治験継続の妥当性が審議された。
審議結果：承認
- No. 2 ギリアド・サイエンシズ株式会社の依頼によるクローン病患者を対象としたFilgotinibの継続投与試験
審議内容：安全性報告に関して、治験継続の妥当性が審議された。
審議結果：承認
- No. 3 ギリアド・サイエンシズ株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象としたFilgotinibの第Ⅱ/Ⅲ相試験
審議内容：安全性報告に関して、治験継続の妥当性が審議された。
審議結果：承認
- No. 4 ギリアド・サイエンシズ株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象としたFilgotinibの継続投与試験
審議内容：当院で発生した重篤な有害事象報告および安全性報告に関して、治験継続の妥当性が審議された。
審議結果：承認
- No. 5 ブリストル・マイヤーズスクイブ株式会社の依頼によるBMS-986165の第Ⅱ相試験
審議内容：安全性報告に関して、治験継続の妥当性が審議された。
審議結果：承認
- No. 6 セルジーン株式会社の依頼による未治療の濾胞性リンパ腫患者を対象としたリツキシマブ+レナリドミド（CC-5013）を投与した場合と、リツキシマブ+化学療法に続いてリツキシマブを投与した場合の有効性及び安全性を比較する第3相非盲検ランダム化試験
審議内容：安全性報告に関して、治験継続の妥当性が審議された。
審議結果：承認

- No.7 セルジーン株式会社の依頼による未治療のびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫患者を対象としたCC-5013(レナリドミド)の第3相試験
審議内容： 安全性報告に関して、治験継続の妥当性が審議された。
審議結果： 承認
- No.8 アステラス製薬株式会社依頼の急性骨髄性白血病を対象とするASP2215（再発）の第III相試験
審議内容： 安全性報告および添付文書の改訂に関して、治験継続の妥当性が審議された。
審議結果： 承認
- No.9 アステラス製薬株式会社依頼の急性骨髄性白血病を対象とするASP2215（維持）の第III相試験
審議内容： 安全性報告および同意説明文書の改訂に関して、治験継続の妥当性が審議された。
審議結果： 承認
- No.10 アステラス製薬株式会社依頼の急性骨髄性白血病を対象とするASP2215（移植）の第III相試験
審議内容： 安全性報告および治験薬概要書の改訂、治験実施状況報告に関して、治験継続の妥当性が審議された。
審議結果： 承認
- No.11 アステラス製薬株式会社依頼の急性骨髄性白血病を対象とするASP2215（初発）の第III相試験
審議内容： 安全性報告、治験実施計画書別紙および治験参加カードの改訂に関して、治験継続の妥当性が審議された。
審議結果： 承認
- No.12 Agios社のAML未治療患者を対象としたAG-120の第3相試験
審議内容： 安全性報告に関して、治験継続の妥当性が審議された。
審議結果： 承認
- No.13 アストラゼネカ株式会社の依頼による心不全患者におけるダパグリフロジンの効果を検討する第III相試験
審議内容： 当院で発生した重篤な有害事象報告、安全性報告および治験分担医師の変更に
関して、治験継続の妥当性が審議された。
審議結果： 承認
- No.14 (治験国内管理人) IQVIAサービシズ ジャパン株式会社の依頼による駆出率が保持された慢性心不全患者を対象としたエンパグリフロジンの第III相試験
審議内容： 当院で発生した重篤な有害事象報告、安全性報告および治験分担医師の変更に
関して、治験継続の妥当性が審議された。
審議結果： 承認

- No.15 (治験国内管理人) IQVIAサービシズ ジャパン株式会社の依頼による駆出率が低下した慢性心不全患者を対象としたエンパグリフロジンの第III相試験
審議内容： 当院で発生した重篤な有害事象報告、安全性報告および治験分担医師の変更に関して、治験継続の妥当性が審議された。
審議結果： 承認
- No.16 ヤンセンファーマ株式会社の依頼による再発又は難治性多発性骨髄腫患者を対象とした、 daratumumab, レナリドミド及びデキサメタゾン (DRd 療法) とレナリドミド及びデキサメタゾン (Rd 療法) の比較第III相試験
審議内容： 安全性報告に関して、治験継続の妥当性が審議された。
審議結果： 承認
- No.17 ヤンセンファーマ株式会社の依頼による再発又は難治性の多発性骨髄腫患者を対象にダラツムマブの皮下投与と静脈内投与を比較検討する第3相ランダム化多施設共同試験
審議内容： 安全性報告に関して、治験継続の妥当性が審議された。
審議結果： 承認
- No.18 第一三共株式会社の依頼による急性骨髄性白血病患者を対象としたキザルチニブ (AC220) の第III相試験
審議内容： 安全性報告に関して、治験継続の妥当性が審議された。
審議結果： 承認
- No.19 サノフィ株式会社の依頼による多発性骨髄腫患者を対象としたSAR650984の第III相試験
審議内容： 当院で発生した重篤な有害事象報告、安全性報告および併用薬の概要書改訂に関して、治験継続の妥当性が審議された。
審議結果： 承認

この他、下記の事項についても審議され、承認がなされた。

使用成績調査 2件 (うち新規 1件 ・ 継続 1件)

副作用・感染症症例報告 1件

【報告事項】

- No. 1 ヤンセンファーマ株式会社の依頼による
(原題) A Phase 3, Randomized, Double-blind, Placebo-controlled, Parallel-group, Multicenter Protocol to Evaluate the Safety and Efficacy of Ustekinumab Induction and Maintenance Therapy in Subjects with Moderately to Severely Active Ulcerative Colitis
(邦題)中等症から重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象としたUstekinumabによる寛解導入療法及び寛解維持療法の安全性及び有効性評価を目的とした第III相、多施設共同、プラセボ対照二重盲検比較試験

報告内容： 12月の本部中央審査において、安全性報告に関して治験継続の妥当性が審議され、承認されたことが報告された。

No. 2 第一三共株式会社の依頼による非弁膜症性心房細動患者を対象としたDU-176b（エドキサバン）第Ⅲ相試験

報告内容： 12月の本部中央審査において、安全性報告および治験薬概要書の改訂に関して治験継続の妥当性が審議され、承認されたことが報告された。

No. 3 アルフレッサファーマ株式会社の依頼によるAF-0901の第Ⅲ相臨床試験－15歳以上のけいれん性てんかん重積状態の患者を対象とした非盲検試験－

報告内容： 12月の本部中央審査において、治験実施の妥当性が審議され、承認されたことが報告された。

No. 4 ヤンセンファーマ株式会社の依頼によるハイリスクのくすぶり型多発性骨髄腫患者を対象にダラツムマブの皮下投与と積極的経過観察を比較検討する第3相ランダム化多施設共同試験

報告内容： 12月の本部中央審査において、治験実施の妥当性が審議され、承認されたことが報告された。

No. 5 アクテリオンファーマシューティカルズジャパン株式会社の依頼による、動脈瘤性くも膜下出血に対しクリッピング術を実施した患者を対象としたクラゾセンタンの第Ⅲ相試験

報告内容： 治験分担医師の変更に関して、迅速審査にて承認されたことが報告された。

No. 6 アクテリオンファーマシューティカルズジャパン株式会社の依頼による、動脈瘤性くも膜下出血に対しコイリング術を実施した患者を対象としたクラゾセンタンの第Ⅲ相試験

報告内容： 治験分担医師の変更に関して、迅速審査にて承認されたことが報告された。

この他、下記の事項についても報告がなされた。

特定使用成績調査（終了報告） 1件

副作用・感染症症例報告（終了報告） 1件